

SSKP
はばたけだより
vol. 91

編集 社会福祉法人おおぞら会 アクティビティセンターはばたけ

編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9
TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274
URL <http://habatake.jp/>



《はばたけ班紹介》 「ており班 ～こころを織る～」

カタン、コットン・・・ており班の部屋には、いつも軽快でリズムカルな音が響いています。
それぞれの感性で、糸の色や素材・織り方を選択し、自由に表現していくさをり織り・・・
その過程は、まるでキャンバスに絵を描いているかのようです。さまざまな色の糸が混ざり合い、溶け合
いながら、やがて世界にひとつしかない作品へと生まれ変わります。
自分を表現することの楽しさや、自分の作品が製品として形になる喜び、そしてその製品を大切に使って
くれるお客さんとの出会い・・・そんな魅力がメンバーのエネルギーの源です！！

私たちの声とどけ！“障害者自立支援法” ～ 法案をめぐる動き ～

前号のはばただよりでもお伝えした「障害者自立支援法」…障害者サービスの制度的枠組みを大きく変えるこの法案。身体・知的・精神の3障害で格差のあったサービスを一本化するなど評価すべき点はある一方で、多くの問題点が指摘されています。そんな混乱の中、国会では早くも審議がはじまり、法案成立に向け待ったなしの状況です。

「自立支援法案」の主な問題点 (細かな問題点はもっとありますが…)

- 「応能負担」から「応益負担」へ …○一割負担原則。食べる・移動する・排泄するなど生きていく上で最低限欠かせない支援までも“益”というのか？(精神科通院医療費の負担はすでに10月からスタート予定)
- 負担に対し「本人所得方式」から「世帯単位原則」に。高い利用料が払えず独立できない=いつまでも家族が負担。これで“自立”につながるのか？ 制度の後退では？
- 所得保障や就労支援の具体的な策が示されていない。
- 「自立支援給付」と「地域生活支援事業」…○国の義務的経費である自立支援給付に対し、裁量的経費となる地域生活支援事業は自治体の負担が大きく財源も不安定。小規模作業所やガイドヘルプ事業の運営に大きく影響するのでは？
- 「支給決定」のあり方 …○有識者・学識者を中心とした審査会を導入。障害程度区分の決定に際し、利用者の実情が伝わるか？声が反映されるのか？
- また、“利用者をただ振り分けるだけ”になりはしないか？
- 「法の谷間の障害」 …○3障害の一元化は大きな進歩だが、難病や発達障害などこの法案の対象外とされている人たちの支援は？

そもそも国の予算削減の流れの中で出てきたこの法案は、今の地域の実情、利用者の実情をどれだけ反映しているかという“？”だらけです。東京都も、5月に「法案の論点と見解」ということで法案の問題点を整理したうえで、「もっと国民的議論が必要」としています。障害のある人とその家族の切実な声が法案に反映されるように、早急な結論を求めず、当事者の意見が盛り込まれることを願うばかりです。

三鷹市の中での動き

今年2月に市内8施設が、三鷹市議会へ「障害者自立支援法案の制定に対する意見書提出に関する請願について」を提出し、全会一致で採択されました。

これを受けて、三鷹市健康福祉部地域福祉課と三鷹市障害者福祉懇談会の共催で市内の関係者が集まり、法案の学習会が開かれています。3月29日に第1回目が開かれ、すでに3回目を行ないました。

5月2日には、三鷹市長名で厚生労働大臣宛に意見書が提出されました。この中で、自治体のみならず障がい当事者及び関係者が不安と疑問を拭い切れないでいること、利用負担については本人所得を基本とすることなどが述べられています。先の市議会定例会でも、法案に関する質問が出ており、関心の高まりの中で今後の行方を注目しているところです。

日本障害者協会(JD)の動き

5月12日に「障害者自立支援法を考えるみんなのフォーラム」が日比谷公園で開催され、全国の障害者・家族・関係者など6,600人が会場に詰めかけました。これは、この法案に対する関心の高さと不安を示す数字と言えます。このフォーラムは、障害者自立支援法案が抱える問題点を提起し、広く国民に訴えかけるというもので、はばただでも利用者・職員・家族、総勢40名でフォーラムに参加しました。

日比谷野外音楽堂での「聞いて下さい、私たちの声を」という企画では、大勢の観衆が見守る中、はばただ利用者のさとうさんも自らの主張を力のこもった声で堂々と伝

えました。「～制度が変わるということで頭にきているし、自分のお金が引かれるのなら、無駄な道路を作るお金を減らしてほしい！お金がなくなってきたのは障害者本人の責任じゃない。国や国会がそうしてきたからじゃないか！」さとうさんの激しいマイクパフォーマンスに、観衆もたくさんの拍手で応えてくれました。また、主要5政党の国会議員が出席した政党討論会では、各党の白熱した議論の応酬に「そうだ！その通りだ！」と会場からも多くの声があがり、会場が一体となって思いをぶつけ合いました。そしてフォーラムの最後にはアピールを採択し、要望書を厚生労働大臣に提出して終了しました。この模様はテレビ・新聞等でも取り上げられ、国会審議にも大きな影響を与えました。



☆野外音楽堂は熱気でいっぱい。入れない人もたくさんいました☆

きょうされん(共同作業所全国連絡会)の動き

法案を受けて、各地で大規模な集会が行なわれています。4月16日には東京でもシンポジウムが開催され1000人を越える参加者が集まりました。

また、去る6月2日に第28次きょうされん国会請願行動が行われました。今回は小規模作業所問題に加え、障害者自立支援法案が国会で審議の真っ最中ということで、今までにも増し大切な請願行動です。

全国から集まった署名の数は120万筆(はばただでは588筆の署名と25,693円の募金を集めることができました)。今回は全国から300人の関係者が集まり、署名を国会議員の部屋を一つずつまわって届けました。はばただからも職員1名、利用者3名、計4名が参加しました。

請願行動後に行われた自民党との政党懇談会では、「みなさんに満足してもらえるような政策をつくるために自民党内で議員連盟(会長八代英太議員、幹事長岩永峯一議員)というのをつくった。皆さんの利益になるようなことを考え、応援していく。」と岩永議員より力強い言葉も聞くことができました。

今回の請願行動がいかに大切なものであったかは、今後の審議の中で明らかになってくると思います。

※署名、募金にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



☆ はばただのみんなも野音のステージに立ちました！ ☆

の〜んびいハ丈島…

2004年度旅行 第3弾

ハ丈島コース 3月9日(水) ～ 11日(金)

蓼科・金沢とご報告してきた2004年度の旅行。実はもうひとコース残っていたんです！

3つのコースの中で一番人数の少なかった“ハ丈島コース”ですが、その分のんびり、ゆったり、地元の人ともふれあい、今までにない旅となりました。

年度が変わってしまいましたが、3月ギリギリで行ってきたハ丈島コースの様子をお伝えします！

準備

利用者4名と職員3名という小人数旅行となった“ハ丈島コース”。だったら、小人数ならではの楽しみ方を…と考え、

あらかじめ職員で日程を決めるのではなく、参加利用者も一緒に「3日間をどう過ごすか？何をするか？」を1から決めていきました。

パンフレットを広げ、みんなでにらめっこ…。

「あ、ここ行ってみたいな」「お土産タイムはと

れるかな？」「釣りもしたいな」などみんなの要望を取り入れて、“自分たちの旅”ができあがりしました。



☆ 牛とも仲良くなりました！ ☆

気ままに…

移動の途中、景色のいいところで車を止めてしばらく眺めたり、食事もガイドブック片手に「何食べたい〜？」とお店探し。“島寿し”や“あしたば”を堪能し「そろそろ行こうか」なんて調子。大勢での旅行だと慌ただしく、時間にも制限があってあたり前のところがあったけれど、これがグループ旅行のいいところ！…気ままなのんびり旅行となりました。

さらに、夕食を食べたお店では、ご主人から「星がきれいに見えるところがあるから、これから案内してやるよ！」と誘われ、夜の山道を車で走り穴場ポイントへ。満天の星に囲まれて、みんなの目もキラキラ☆…“いい出会い”も旅の楽しみのひとつだとあらためて実感したのでありました…。

夜も楽しみ！

いつものはばたけの旅行では、夜はカラオケ・宴会！が定番ですが、今回の旅では、夜な夜な買物にでかけ、お菓子やビールをもってひとつの部屋に集まり“語らいの時間”に…。日頃思っていること、仕事での愚痴(!!)も含め、ざっくばらんに話ことができました。みんなでお互いの話を聞き、アドバイスしあったりと、職員・利用者という括りがわからなくなるほど、ひとつの輪になっていました。お互いの部屋に戻ってからも、男性の部屋からは枕なげの音が…。夜は長く、深く、ふけていきました。



☆ 雄大なハ丈富士をバックに… ☆

「ハ丈島コースでよかった！」と言ってくれたせきぐちさんやふじもりさん。「また釣りがしたい」と希望が増えたおおさわさん。「今度は夏に來たいな」と思いが膨らんださとうさん。そんなみんなの心に残る旅が今年度もできるといいなと思っています。

3度目のチャレンジ!

スプリングハイク i n 高尾山



はばたけの行事で毎回の不安材料といえば・・・そうです、おてんと様のごきげん。前日まで天気予報とにらめっこでしたが、当日の朝は太陽が顔を出してくれました。ほっとしたところで、一同めざすは3度目の高尾山。今年も4つのコースに分かれ、新緑の中ハイキングを楽しんできました!

行きも帰りも全部歩くコース(稲荷山コース)に参加したごとうさんは、「疲れちゃったけど、また来年も挑戦したい!」と笑顔で話してくれました。

全部歩くのはしんどいけど・・・という人向けの行きは歩いて帰りはケーブルカーコースは、7名のメンバーがチャレンジ!お互い励まし合いながら、無事頂上まで辿り着くことができました。

何日も前からケーブルカーを楽しみにしていたごづかくんは、もちろん行きも帰りもケーブルカーコース。急な斜面にドキドキしながら、外の景色を楽しんでいました。



ゆっくり過ごそうコースを選んだおきやまさんはというと、「頂上でお昼を食べたい!」という目標を見事達成!はじめは歩くことに自信が持てなかったのに、途中の山道では気合が入り、駆け足になる場面も。頑張っ

て歩いた分、お弁当の味も格別でしたね!

今回も、ケガや事故もなく無事下山でき、帰りの電車の中では、仲間の笑顔を沢山見ることができました。はばたけの集団として行なう「行事」の意味を再確認し、来年の取り組みにつなげていけたらと思います。

・・・みなさん、本当にお疲れさまでした!



の～んびりしたい人は・・・

スプリングハイク a t 多摩森林科学園

山に登るのはちょっと大変かな・・・という人たちは、高尾にある多摩森林科学園へ。新緑に囲まれた園内で、一日ゆったりのにんびり過ごしてきました。

スプリングハイクに2度目の参加となるまえださんは、散策したり展示館に入ったりして、自然を満喫できました。

また、当日実習生(大学生)がパートナーだったいいばさんは、「若い人とゆっくりいろんな話ができてよかったわ」と、うれしそうに感想を聞かせてくれました。

★当日参加して下さったボランティアのみなさま、ありがとうございました★

おおぞら会後援会ニュース

～ 後援会総会 開催 5月27日 ～

紫陽花の彩りが、梅雨のうっとうしさを和らげてくれる今日このごろ。皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、去る5月27日におおぞら会後援会総会が開催され、討議事項は全て全会一致で承認されました。これまで、後援会の主な役割は「アクティビティセンターはばたけ」に対する財政、活動の支援協力でした。その方針を引き継ぎながら、今年度は一歩踏み込んで、「おおぞら会が新規事業展開した折には全面協力する」ということが確認されました(会員の皆さまには詳細を記した資料をお送りしました)。障害者に関する大きな法改正の流れの中、後援会としてもあらためて土台をかためていかなければなりません。総会後の懇親会では後援会の役割、おおぞら会の展望などを語り合い気持ちを新たにしました次第です。後援会員、はばたけだより読者の皆さまにおかれましても、“はばたけサポーター”として今後ともお力添えのほどよろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会長 吉野壽夫

2004年度おおぞら会後援会収支報告書 (2004/4/1～2005/3/31)				2004年度おおぞら会後援会収支予算書 (2004/4/1～2005/3/31)			
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
項目	実績	項目	実績	項目	実績	項目	実績
前期繰越金	2,369,150	事務費収入	170,817	前期繰越金	2,345,035	事務費収入	195,000
会費収入	1,104,000	活動事業費	3,300	会費収入	1,050,000	活動事業費	50,000
寄付金収入	163,700	寄付金支出	2,000,000	寄付金収入	150,000	寄付金支出	2,000,000
事業収入	882,255			事業収入	928,000		
物品販売	266,865	支出計	2,174,117	物品販売	288,000	支出計	2,245,000
バザー	615,390			バザー	640,000		
雑収入	20			雑収入	1,000		
利息収入	27	次期繰越金	2,345,035	利息収入	500	次期繰越金	2,229,535
合 計	4,519,152	合 計	4,519,152	合 計	4,474,535	合 計	4,474,535

★後援会新規ご入会・ご更新ありがとうございました

2005年4月1日から6月15日までの間に、個人64名の方からご入会・ご更新をいただきました。
心より御礼申し上げます。

これからも、皆様の暖かいご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

★後援会へご寄付ありがとうございました

2005年4月1日から6月15日までの間に、個人2名の方から、後援会へのご寄付をいただきました。
ご寄付は、より一層充実した活動のために役立たせていただきます。

ありがとうございました。



○ 後援会へのご入会・今年度分のご更新をお願いいたします ○

年会費 1口 個人 2,000円 団体 10,000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。
よろしくお願いいたします。

郵便口座 00160-0-39163

口座名義 社会福祉法人おおぞら会後援会

活動日誌 3月1日(火)～5月31日(火)まで

3月	2日	(水)	方針会議	5月	5日	(木)	三鷹こどもまつり
	4日	(金)	家族会懇談会、連続講座		6日	(金)	職員会議
	9日	(水)	春の旅行(～11日、八丈島コース)		12日	(木)	日比谷 自立支援法フォーラム参加
	18日	(金)	連続講座		17日	(火)	家族会懇談会
	23日	(水)	嘱託医健診		18日	(水)	歯科検診
	25日	(金)	興味別外出、職員会議		20日	(金)	スプリングハイク(高尾山、森林公園)
	26日	(土)	理事会、評議員会		21日	(土)	理事会、評議員会
					25日	(水)	嘱託医健診
4月	1日	(金)	出発式、家族会懇談会		27日	(金)	職員会議、後援会総会
	8日	(金)	職員会議		27日	(金)	職員会議、後援会総会
	22日	(金)	職員会議				
	24日	(日)	昭島ライブ(ルーキーズ)				
	24日	(日)	昭島ライブ(ルーキーズ)				

◎来訪された方々

調布養護学校・渡辺様 みんなの家・内野様 中央設計・長岡様 TKC・吉田様 セコム・菊永様
府中朝日養護学校・白瀬様、幡ヶ谷様、関根様、瓜生様、小澤様
生活支援センターぽっぷ・宮城様、高橋様、小林様、栗原様、藤森様
倉田様 河内様 正田様 杉山様 橋本様 清建・木村様 西様 阿部様 吉野様 小川様

◎実習生の方々(社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習)

ルーテル学院大学・南様 昭和女子大学・川島様

◎ボランティアの方々～いつもありがとうございます！

佐々木様 岡村様 佐野様 後藤様 川島様 八田様 青木様 佐々治様 相沢様
井上様 榛澤様 稲吉様

恒例 みたか寄席！

毎年好評のイベントが、今年も開催されます！
「2005障害者チャリティみたか寄席」、今回は
上方落語の雄、笑福亭鶴光・桂ざこば両師匠が出演！
ジブリ美術館の入場券が当たる、お楽しみの
抽選会も行います。

みなさんのご来場をお待ちしています！

日時 7月16日(土) 13:30～

場所 三鷹市公会堂大ホール

主催 三鷹市障害者福祉懇談会

出演 笑福亭鶴光 桂ざこば 古今亭菊寿

林家二楽 新山ひでや・やすこ 古今亭菊六



i n f o r m a t i o n

バザー品の提供をお願いします！

お宅に眠っている物ありませんか？

衣料品・日用雑貨・贈答品・コミック本など

いずれも新品か新品同様の物を回収いたします

回収できないもの

電化製品・家具・ふとん・人形・書籍（百科事典など含む）

使用済みスポーツ用品・使用済み食器など・・・

その他、シミ・カビ・キズ・汚れのひどい商品はお取り扱い
できませんのでご了承下さい。

市内・近隣地域へは回収にお伺いします！！

回収は平日の夕方5時以降になりますが、他の時間を
希望される方はご相談ください。

問い合わせ先 社会福祉法人おおぞら会後援会(アクティベーターはばただ内)

TEL 0422-32-3234 (電話受付は平日9時～17時まで)

バザー開催日 9月25日(日) 三鷹市第二中学校体育館にて

〔編集後記〕 先日ある学習会に参加したときに、お招きした講師の方が話の合間に尼崎の脱線事故のことに触れた。『あの事故で被害にあった遺族の多くは何と言っていたか分かりますか？「・・・何で息子が娘が家から出るのを引き止めなかったのだろうか、あの朝もう少し長く喋っていればあの電車に乗っていなかったかもしれない」・・・家族は自分を責めているんですよ、こういった不慮の事故でも・・・』

あの事件以降いろいろな問題が指摘されているが、僕の見えなかった部分を講師の方は伝えていた。その人はアルコール関連の仕事をしているのだが、その人の生きてきた道や自らの経験や環境によって視点や観点が違うなと改めて思った。(ト部)

発行 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

企画・編集 アクティベーターはばただ

編集責任者 三浦 明雄

編集委員長 伊東 暁子

編集委員 ト部 禎生

深澤実希子

頒
価
50
円

第5号様式

貸 借 対 照 表 (授産施設会計基準適用)
社会福祉法人おおぞら会

平成17年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科 目	金額 (千円単位)	科 目	金額 (千円単位)
流動資産	24,769	流動負債	2,067
現金預金	17,714	未払金	1,774
商品・製品	110	預り金	293
仕掛品	182		
原材料	302		
未収金	5,473		
前払金	918		
仮払金	70		
固定資産	161,433	固定負債	45,500
基本財産	134,768	設備資金借入金	45,500
建物	134,768	負債の部合計	47,567
その他の固定資産	26,664	純資産の部	
建物	359	基本金	35,476
建物附属設備	15	基本金	35,476
構築物	4,118	国庫補助金等特別積立金	71,427
機械及び装置	1,013	その他の積立金	17,158
車輛運搬具	1,515	移行時特別積立金	4,372
器具及び備品	2,138	授産移行時特別積立金	1,435
権利	153	その他の積立金	11,351
ソフトウェア	195	次期繰越活動収支差額	14,574
移行時特別積立預金	4,373	次期繰越活動収支差額	14,574
授産移行時特別積立預金	1,435	(うち当期活動収支差額)	-292
その他の固定資産	11,350	純資産の部合計	138,635
資産の部合計	186,202	負債及び純資産の部合計	186,202

脚注

1 減価償却費の累計額 63,051 千円

注記

1 重要な会計方針
たな卸資産の評価方法 最終仕入原価法

資 金 収 支 計 算 書（授産施設会計基準適用）

（自）平成16年4月1日（至）平成17年3月31日

（単位：千円）

勘定科目			合計	社会福祉法人 おおぞら会 本部	（単位：円） アクティビティセンター はばたけ
授産事業活動 による収支	収入	授産事業収入	3,133	0	3,133
			0		
		授産事業収入計（１）	3,133	0	3,133
	支出	授産事業支出	2,688	0	2,688
			0		
		授産事業支出計（２）	2,688	0	2,688
	授産事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		445	0	445
福祉事業活動 による収支	収入	利用料収入	64,678	0	64,678
		経常経費補助金収入	5,536	0	5,536
		寄附金収入	2,660	2,520	140
		雑収入	1,605	0	1,605
		借入金利息補助金収入	1,078	0	1,078
		受取利息配当金収入	5	3	2
		福祉事業収入計（４）	75,562	2,523	73,039
	支出	人件費支出	56,312	306	56,006
		事務費支出	8,823	1,848	6,975
		事業費支出	8,066	0	8,066
		借入金利息支出	1,078	0	1,078
		雑損失	4	0	4
		福祉事業支出計（５）	74,284	2,155	72,129
福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)-(5)		1,278	368	910	
施設整備等 による収支	収入	固定資産売却収入	330	330	0
			0		
		施設整備等収入計（７）	330	330	0
	支出	固定資産取得支出	236	0	236
			0		
		施設整備等支出計（８）	236	0	236
施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)		94	330	-236	
財務活動 による収支	収入	借入金元金償還補助金収入	3,500	0	3,500
			0		
		財務収入計（１０）	3,500	0	3,500
	支出	借入金元金償還金支出	3,500		3,500
		その他の支出	1,129		1,129
		財務支出計（１１）	4,629	0	4,629
	財務活動資金収支差額(12)=(10)-(11)		-1,129	0	-1,129
当期資金収支差額合計(13)=(3)+(6)+(9)+(12)		688	698	-10	

前期末支払資金残高(14)	21,420	5,259	16,162
当期末支払資金残高(13)+(14)	22,108	5,957	16,152

事業活動収支計算書（授産施設会計基準適用）

（自）平成16年4月1日（至）平成17年3月31日

（単位：千円）

勘定科目			合計	社会福祉法人 おおぞら会 本部	アクティビティセン- はばたけ
授産事業活動 の部	収入	授産事業収入	3,133	0	3,133
			0		
		授産事業活動収入計（１）	3,133	0	3,133
	支出	授産事業支出	2,688	0	2,688
		たな卸資産増減額	-157	0	-157
			0		
		授産事業活動支出計（２）	2,531	0	2,531
授産事業活動収支差額(3)=(1)-(2)		602	0	602	
福祉事業活動収支の部	収入	利用料収入	64,678	0	64,678
		経常経費補助金収入	5,536	0	5,536
		寄附金収入	2,660	2,520	140
		雑収入	1,605	0	1,605
		借入金元金償還補助金収入	3,500	0	3,500
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
		福祉事業活動収入計（４）	77,979	2,520	75,459
	支出	人件費支出	56,312	306	56,006
		事務費支出	8,823	1,848	6,975
		事業費支出	8,066	0	8,066
		減価償却費	9,580	0	9,580
		福祉事業活動支出計（５）	82,781	2,154	80,627
福祉事業活動収支差額(6)=(4)-(5)		-4,802	366	-5,168	
事業活動外収支の部	収入	借入金利息補助金収入	1,078	0	1,078
		受取利息配当金収入	5	3	2
		事業活動外収入計（７）	1,083	3	1,080
	支出	借入金利息支出	1,078	0	1,078
		雑損失	4	0	4
		事業活動外支出計（８）	1,082	0	1,082
		事業活動外収支差額(9)=(7)-(8)	1	3	-2
経常収支差額(10) = (3)+(6)+(9)		-4,199	369	-4,568	
特別収支の部	収入	国庫補助金等特別積立金取崩額	5,037		5,037
			0		
		特別収入計(11)	5,037	0	5,037
	支出	固定資産売却損・処分損（売却原価）	0	0	0
		その他の支出	1,129		1,129
		特別支出計(12)	1,129	0	1,129
		特別収支差額(13)=(11)-(12)	3,908	0	3,908
当期活動収支差額(14)=(10)+(13)		-291	369	-660	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(15)		14,867	5,589	9,278
	当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)		14,574	5,957	8,617
	基本金取崩額(17)		0	0	0
	基本金組入額(18)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(19)		0	0	0
	その他の積立金組入額(20)		0	0	0
	次期繰越活動収支差額 (21)=（１６）+（１７）-（１８）+（１９）-（２０）		14,574	5,957	8,617